## 下水道工事標準仕様書 新旧対照表

2. 管 路       2. 管 路         (略)       (略)         1.3 マンホール継手の使用       (略)         1. 硬質塩化ビニル管の布設にあたっては、汚水及び合流の場合、くら型マンホール継手(MRK 又は MRK-PRP)を使用しなければならない。い。雨水についてはマンホール継手(MR、MSA 又は MR-PRP、MSA-PRP)を使用しなければならない。を使用しなければならない。       1. 硬質塩化ビニル管の布設にあたっては、汚水及び合流の場合、くら型マンホール継手(MR、MSA 又は MR-PRP、MSA-PRP)を使用しなければならない。         を使用しなければならない。       2. 鉄筋コンクリート管の布設にあたっては、雨水、汚水又は合流のどの場合においても、マンホール接合部に短管と切場合においても、マンホール接合部に短管との場合においても、マンホール接合部に短管とを使用しなければならない。なお、管割について検討のうえ、などの場合においても、マンホール接合部に短管とを使用しなければならない。なお、管割について検討のうえ、などの場合においても、マンホール接合部に短管とを使用しなければならない。なお、管割について検討のうえ、などの場合においても、マンホール接合部に短音とを使用しなければならない。なお、管割について検討のうえ、などの場合においても、マンホール接合部に短管とを使用しなければならない。なお、管割について検討のうえ、などの場合においても、マンホール接合部に短管となり、なお、管割について検討のうえ、などの場合においても、マンホール接合部に短管となり、などの場合においても、マンホール接合部に短管となり、なお、管割について検討のうえ、などの場合においても、マンホール接合部に短管となり、なお、管割について検討のうえ、などの場合においても、マンホール接合部に短管となり、なお、管割について検討のうえ、などの場合においても、マンホール接合部に短管となり、なお、管割について検討のうえ、などの場合においても、マンホール接合部に短管となり、なお、管割について検討のうえ、などの場合においても、マンホール接合部に対してはなりない。なお、管割について検討のうえ、などの場合においても、マンホール接合部に対してはなりなり、なお、管割について検討のうえ、などの場合においても、マンホール接合部に対して検討の方式をはなり、なお、管割について検討の方式をはなり、なお、管割について検討の方式をはなります。	新	旧	備考
施上計画者に明記し監督員に提出しなければならない。	<ul> <li>新</li> <li>2. 管 路</li> <li>(略)</li> <li>1.3 マンホール継手の使用</li> <li>1. 硬質塩化ビニル管の布設にあたっては、汚水及び合流の場合、くら型マンホール継手(MRK 又は MRK-PRP)を使用しなければならない。雨水についてはマンホール継手(MR、MSA 又は MR-PRP、MSA-PRP)を使用しなければならない。</li> <li>2. 鉄筋コンクリート管の布設にあたっては、雨水、汚水又は合流のどの場合においても、マンホール接合部に短管 (50cm 以上 170cm</li> </ul>	2. 管 路         (略)         1.3 マンホール継手の使用         1. 硬質塩化ビニル管の布設にあたっては、汚水及び合流の場合、くら型マンホール継手(MRK 又はMRK-PRP)を使用しなければならない。雨水についてはマンホール継手(MR、MSA 又は MR-PRP、MSA-PRP)を使用しなければならない。         2. 鉄筋コンクリート管の布設にあたっては、雨水、汚水又は合流のどの場合においても、マンホール接合部に短管	